

棚田康司

- 1968 兵庫県明石市生まれ 神奈川県茅ヶ崎市在住
- 1993 東京造形大学造形学部美術学科Ⅱ類（彫刻）卒業
- 1995 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 2001 文化庁芸術家在外研修員として7ヶ月ベルリンに滞在
- 2016 インドネシア・バンドゥンに2ヶ月、シンガポールに1ヶ月滞在制作

個展・二人展:

2019

「鎮守の森の入口で」 ギャラリー桜林／茨城

2018

「全裸と布」 ミヅマアートギャラリー／東京

2017

「O JUN×棚田康司 関（せめぐ）」 伊丹市立美術館／兵庫

2016

「バンドゥン スケッチ」 ミヅマアートギャラリー／東京

「Nasirun & TANADA Koji From Koyasan to Borobudur」 Mizuma Gallery／シンガポール

2013

「ヨミと過現未」 能-BOX／仙台、宮城

2012

「たちのぼる。」 練馬区立美術館／東京（2013 伊丹市立美術館／兵庫に巡回）

2011

「〇と一（らせんとえんてい）」 スパイラルガーデン／東京

「生える少年」 ミヅマアートギャラリー／東京

2009

「結ぶ少女」 ミヅマアートギャラリー／東京

2008

「十一の少年、一の少女」 ヴァンジ彫刻庭園美術館／静岡

2006

「棚田康司展」 void+／東京

「棚田康司展」 ミヅマアートギャラリー／東京

2005

「YOU or IT」（O JUN×棚田康司） ミヅマ・アクション／東京

2004

「棚田康司展」 ミヅマアートギャラリー／東京

2000

「棚田康司展」 ミヅマアートギャラリー／東京

1999

「Domination & Submission - 支配と従属 -」 ミヅマアートギャラリー／東京

1997

「ゆっくりと、肯定へ」 ギャラリーαM／東京

1996

愛宕山画廊／東京

1994

ギャラリー美遊／東京

グループ展:

2019

「岡本太郎美術館 20周年記念展 これまでの企画展みんな見せます！ 芸術と社会・現代の作家たち」 川崎市岡本太郎美術館／神奈川

「Creative Spiral Project Vol.6 人が人をつくる」 東京造形大学附属美術館／東京

「でんちゅうストラット - 星をとる」 小平市平櫛田中美術館／東京

「コレクション特集展示 ジャコメッティと II」 国立国際美術館／大阪

「ギホウのヒミツ-O JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに」 高松市美術館／香川

「空間に線を引く - 彫刻とデッサン」 平塚市美術館／神奈川（足利市美術館／栃木、碧南市藤井達吉現代美術館／愛知、町立久万美術館／愛媛 へ巡回）

「リニューアル・オープン記念展 MOT コレクション ただいま / はじめまして」 東京都現代美術館

2018

「国立国際美術館コレクション 美術のみかた 自由自在」 福岡県立美術館（2019 豊橋市美術博物館／愛知 へ巡回）

「刻まれた時間 - もの語る存在」 東京藝術大学大学美術館／東京

「でんちゅうストラット - グッド・バイブレーション」 小平市平櫛田中彫刻美術館／東京

「現代・木彫・根付」 ベトナム日本文化交流センター／ハノイ

2017

「国立国際美術館 開館 40周年記念 連携企画 いまを表現する人間像」 大阪市立東洋陶磁美術館／大阪

「でんちゅうストラット」 小平市平櫛田中彫刻美術館／東京

「開館 15周年記念展 生命の樹」 ヴァンジ彫刻庭園美術館／静岡

「今様 - 昔と今をつなぐ」 渋谷区立松濤美術館／東京

2016

「IMAYŌ: JAPAN'S NEW TRADITIONISTS」 The Art Gallery at the University of Hawai'i at Mānoa, Honolulu
Museum of Art／ハワイ、アメリカ

「再発見！ニッポンの立体」 群馬県館林美術館（2017 静岡県立美術館、三重県立美術館へ巡回）

「IMPACTS! ・勢み」 ギャラリー桜林／茨城

2015

「第 10 回 アトリエの末裔あるいは未来」 東京藝術大学大学美術館陳列館／東京

「88」 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA／神奈川

「No Museum, No Life? - これからの美術館事典 国立美術館コレクションによる展覧会」 東京国立
近代美術館

「Unveiling Fundamentals in Contemporary Art Through Asia」 OHD Museum／マゼラン、インドネシア

2014

「IMPACTS! ・勢み」 ZANE BENNETT Contemporary Art／サンタフェ、アメリカ

「ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉」 国立国際美術館／大阪

2013

「国際木彫芸術交流展」 三義木彫博物館／三義、台湾

2012

「コレクションの誘惑」 国立国際美術館／大阪

「ジパング展 -沸騰する日本の現代アート-」 新潟県立万代島美術館（2013 高崎市美術館／群馬、
八戸市美術館／青森、秋田県立近代美術館へ巡回）

2011

「TDW-ART エルピスの空」 明治神宮外苑中央会場・環境デザイン TENT 特別企画スペース／東京

「ZIPANGU -31 人の気鋭作家が切り拓く、現代日本のアートシーン。-」 日本橋高島屋／東京（大
阪高島屋、京都高島屋に巡回）

2010

「SO + ZO 展 未来をひらく造形の過去と現在 1960s→」 Bunkamura ザ・ミュージアム／東京

「コレクション 2」 国立国際美術館／大阪

「創造と回帰 | 現代木彫の潮流」 北海道立近代美術館

2009

「Style & Jaguar」 JAGUAR AOYAMA／東京

「Essential Experiences」 Museo Regionale d'Arte Moderna e Contemporanea／パレルモ、イタリア

「彫刻の五・七・五」 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

「November Steps -Susan Phillipsz & Gallery Artists-」 ミヅマアートギャラリー／東京

2008

「TARO 賞の作家 I」 川崎市岡本太郎美術館／神奈川

「Off the Rails | 反主流」 Mizuma & One Gallery／北京、中国

2007

「物語の彫刻」 東京藝術大学大学美術館陳列館、東京

「場の記憶 虚実の狭間で 第三回造形現代芸術家展」 東京造形大学附属横山記念マンズー美術館／東京

「日本 - メキシコ彫刻友愛展」 ユカタン州メリダ、メキシコ

2006

「アトリエの末裔あるいは未来展」 旧平櫛田中邸／東京

「ライフ」 水戸芸術館現代美術ギャラリー／茨城

「DOMANI・明日展 2006」 損保ジャパン東郷青児美術館／東京

2005

「Since 1994 - 10周年記念展」 ミヅマアートギャラリー／東京

「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞」 川崎市岡本太郎美術館／神奈川

2004

「TOKYO STYLE」 MILLIKEN Gallery／ストックホルム、スウェーデン

2003

「皮膚・身体・コミュニケート」 女子美アートミュージアム／神奈川

「彫刻の身体」 東京藝術大学大学美術館陳列館／東京

2002

「ちがさきアート NOW : 四つの部屋 - 身体の虚実」 茅ヶ崎市美術館／神奈川

2001

「Sex and Consumerism: Contemporary Art in Japan」 University of Brighton Gallery /Brighton (Aberystwyth Arts Centre /Aberystwyth、Stanley Picker Gallery /London、Hot Bath Gallery /Bath、イギリスへ巡回)

「FLAGSHIP 2001 Tour」 エキシビジョン・スペース／東京

「S(h)itting in the mirror : オレにはオレがこう見える」 ミヅマアートギャラリー／東京

2000

「第13回 素材の予感」 マスダスタジオ／東京

1999

「彫刻・具象表現の解体と構築」 東京藝術大学大学美術館陳列館／東京

「拡兆する美術 '99」 茨城県つくば美術館

「第12回 素材の予感」 マスダスタジオ／東京

1998

「Young Art International '98」 OVERBECK - GESELLSCHAFT／リューベック、ドイツ

「HOLY GIFT Vol.2」 ミヅマアートギャラリー／東京

「第11回 素材の予感」 マスダスタジオ／東京

1997

「Morphe '97 - 連鎖 - 」 小原流会館／東京

「空間の変容」 東京藝術大学芸術資料館陳列館／東京

「神奈川アートアニュアル '97<明日への作家たち>」 神奈川県民ホールギャラリー

受賞歴:

2010 第20回タカシマヤ美術賞

2005 「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞」特別賞

パブリックコレクション:

東京藝術大学大学美術館／東京

ヴァンジ彫刻庭園美術館／静岡

国立国際美術館／大阪

龍美術館／上海、中国

高松市美術館／香川

東京都現代美術館

伊丹市立美術館／兵庫

国際交流基金／東京

主な著作物:

2012 「たちのぼる。」株式会社青幻舎

2008 「十一の少年、一の少女」NOHARA 株式会社